

# 復興土地利用計画のための最適化アプローチ

奥村 誠<sup>1</sup>・金 進英<sup>2</sup>・大窪 和明<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 東北大学

E-mail: mokmr@m.tohoku.ac.jp

<sup>2</sup> 東北大学

<sup>3</sup> 埼玉大学

津波被災地における復興計画の中では、安全性、利便性、経済性、長期的な持続可能性などの相互に対立する価値を勘案して、バランスのとれた土地利用案を見出す必要がある。このとき、これらの価値への重みづけによってどのようなパターンの土地利用が可能となるのかを把握するために、混合整数線形計画問題による最適化モデルを定式化した。仮想的な被災地に対して、土地利用パターンのあり方の数値計算結果を述べる。

キーワード：土地利用，線形計画，最適化